

これだけは覚えよう！重要ポイント

階級

データを区切った範囲

階級の幅

各階級の範囲の大きさ

階級値

階級の中央の値

Q. 階級と階級値の違いは？ 階級は範囲、階級値はその真ん中の値。計算に使う。

① 階級とは

定義

データを区切った範囲のこと。「10以上20未満」など。

$$10 \leq x < 20$$

② 階級の幅

定義

各階級の範囲の大きさ。「10以上20未満」なら幅は10。

$$20 - 10 = 10$$

③ 階級値の求め方

公式

階級値 = (階級の下限 + 上限) ÷ 2

$$\frac{10 + 20}{2} = 15$$

④ 階級値の使い方

応用

平均値を求めるとき、各データの代わりに階級値を使う。

$$\bar{x} = \frac{\sum(\text{階級値} \times \text{度数})}{n}$$

💡 ミス回避のコツ

⚠️ 階級と階級値を混同

✖

$$\text{階級} = 15$$

○

$$\text{階級値} = 15 \text{ (階級は10以上20未満)}$$

階級は「範囲」、階級値は「中央の値」。

⚠️ 階級値の計算ミス

✖

$$\frac{10 + 19}{2} = 14.5$$

○

$$\frac{10 + 20}{2} = 15$$

階級値は下限と上限の中央。端の値に注意。

最終確認チェックリスト

- 階級と階級値の違いを説明できるか？
- 階級値の計算方法を覚えたか？
- 階級値を使って平均を求められるか？